

## 絵画が寄贈されました

■4月15日 教育会館



市内在住の画家小林清一郎さん(79)=旭町2=から市内の原風景を描いた油絵2点が勝山市に寄贈されました。作品は教育会館1階ロビーで展示中です。

## ミチノクフクジュソウ観察会

■4月15日 北谷町



毎年ミチノクフクジュソウの保全活動を行っている村岡小学校の6年生が、現地ですべて咲いている花の観察会を行いました。

## 勝山城で盛大にお茶会開催

■4月20日 勝山城博物館



勝山城博物館で清明茶会が開催され、大勢の来場者で賑わいました。日本庭園では野点(のだて)が行われました。

# HOT話題

## 勝山の成人式が表彰を!

■4月11日 勝山市役所



今年の勝山市の成人式運営を行った実行委員会の取り組みが認められ、2014成人式大賞で優秀賞を受賞したので、実行委員2名が受賞報告に市役所を訪れました。

## 弁天桜まつり大にぎわい

■4月12・13日 弁天河原



今年は桜が見事に咲き誇り、快晴に恵まれた弁天桜まつりは大勢の花見客で賑わいました。

## 春の平泉寺一斉清掃行われる

■4月13日 平泉寺



平泉寺白山神社境内等で、杉の枝や落ち葉を集める清掃が行われ、平泉寺区民、サポーターズクラブ、市職員含むボランティア約180名が参加しました。

## エコ協通信

### 5月エコ協通信

10地区のエココミュニケーション活動の取り組みを順番にご紹介しています。  
第4回は北郷町です。

平成14年の協議会発足時には、北郷町史跡・遺跡マップを作成し、案内標識や案内大看板を設置しました。  
また、「鷲ヶ岳登山道」の補修や整備も行いました。

さらに、残したい伝統料理・郷土伝統食文化研究の参考とするために、町民へ食文化アンケートを実施しました。

#### ●「ほたるの里」

北郷公民館前に「ほたるの里」を作りました。林の伐採等で土地を整備し、宝くじコミュニティ助成金も利用して東屋を建てました。毎年6月に、この場所でホテル鑑賞会を実施しています。

●鮎を使ったお寿司  
九頭竜川の鮎を使った甘露煮や昆布巻きは北郷の郷土料理です。この「鮎の甘露煮」を使って押し寿司を試作したところ、試食会で好評だったので、町文化祭に200食、勝山市の市に600



食を出品しました。その後、巻き寿司に変更して商品化を進め、うまいもん祭りで200本、年の市で300本を出品したところ、どちらも午前中で完売するほどの売れ行きでした。  
現在は、まちづくり委員会から独立し「鮎を嗜む会」となり、北郷の特産品として販売しています  
●岩屋奥の観光地化  
近年は、岩屋奥の観光地化を進めています。

まず、岩屋への入り口となる上野地区に植樹をし、観光ロードにつながる岩屋の里山自然観察園の整備を行いました。草刈りや花木の植樹およびビオトープ作りを行いました。

また、岩屋オートキャンプ場の奥にある「大鷲滝」の道路整備にも取り組み、崩れ落ちる土砂と格闘しながら、ブロックを埋めて、杭打ちやロープ張り等を、人力で少しずつ進めています。進捗状況は、登山であれば6合目あたりです。

平成23年度から、北郷町まちづくり協議会は3部会(ふれあい交流部会、特色づくり部会、地域づくり部会)構成になりました。引き続き、わがまち元気発酵事業補助金を活用しながら「岩屋奥の観光地化」を継続していくことを考えています。

文章 北郷町まちづくり協議会事務局 ☎87・1011

## 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

勝山市は、その全域が「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークに認定されており、全国でジオパークとして活動できる地域は平成26年4月末時点で33地域あります。  
今月から、隔月で「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の魅力や市民の皆様のジオパーク活動などについてご紹介していきます。

●「ジオパーク」ってなに?  
「ジオ(Geo)」とは、地球や大地を表す言葉です。「パーク(Park)」は人の集まる場所、公園を指します。よって、ジオパークとは、「地球全体を楽しむ公園」、「大地の公園」と言われています。しかし単に地形・地質の重要なサイトを集めたというだけではジオパークとは言えません。地形・地質と、生態系や人間生活との関係を示すことができるサイトがあり、地域の人が地域の様々な貴重な地質遺産等を守り、遺産の価値を理解し学び、遺産を活用して、将来に向けて



### —第1回— 教えて! 「ジオパーク」って?

「持続可能な地域」の発展のために、取り組まれている場所がジオパークと見なされます。ジオパークへ訪れた人にとっては、その地域の地質遺産やその他の遺産、人の活動をまるごと楽しむ場所になります。勝山市では、ジオパークの活動を市民とともに進めています。



ジオツアー「恐竜と大地探検ツアー」の様子(大矢谷白山神社の巨大岩塊)

●勝山市のジオパークのテーマ  
恐竜はどこにいたのか?  
大地が動き、大陸から勝山へ勝山市のジオパークでは、中国大陸に恐竜が生息していた時代から勝山の地で恐竜化石が発見される間の「恐竜や恐竜化石」を中心とした時間軸の中で起こった様々な地球活動の遺産や地球の活動により形成された豊かな生態系、それら風土により育まれた歴史、文化、産業といった勝山の人の暮らしを学び、楽しむことができます。それが「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」なのです。

●観光政策課(市役所2階) ☎88・8117